

執筆要綱（補足説明も併せてご覧ください）

1. レジюмеは、英語に限定します。
2. 原稿の長さは、200 語以内、ダブル・スペース（一行おき）でお願いします。長すぎる場合は、編集委員会の責任において短縮することがあります。
3. 英文レジюмеでは、論文の目的と結論を明確にしてください。英文レジюмеは英語を母国語とする校閲者がチェックしますので、英文レジюмеと同じ内容で簡潔な文章の和文原稿を提出してください。このチェックは「校閲」であって「翻訳」ではありません。最終的責任は執筆者に帰しますので、あらかじめ英語を母国語とする人の添削をうけてから提出してください。チェックした原稿は一度著者にみていただきますが、それをもとに編集委員会で最終原稿を作成しますので、校正の必要はありません。
4. 表記について
  - a. 原語の表記は、慣例にしたがってください。  
例えば、日本語の場合は、原則としてヘボン式表記とします。  
ただし、長母音をしめすマクロンは使用しません。
  - b. 人物名は、姓を大文字にしてください。  
例: Adam SMITH, Yukichi FUKUZAWA
  - c. 原語は、原則としてイタリックになりますので、アンダーラインを付し、英訳をつけてください。なお、頭文字は小文字で、単数扱いにします。  
例: daimyo [feudal lord] or daimyo [feudal lord]
5. 論文の著者名、タイトルの表記は、次のようにしてください。

Terushi HARA, The French war economy and economic dirigisme during the occupation

The French war economy was characterised by the fact that the country was not independent but occupied by Germany. In this article, the author tries to identify some characteristics of the occupation economy.

In the first section, two aspects of the occupation economy are analysed and described. First, the way in which German military and civil organization worked...
6. 著者名（英語表記）、英文タイトルは必ず記載してください。
7. 英文レジюмеは、社会経済史学会のホームページにおいて公開します。